



からくさ



【教育目標】 自律 探究 協働

【重点目標】 経験を積み重ね、自分を超越する生徒

「自律」「探求」「協働」で中学校生活を楽しもう

令和5年度の原町第二中学校は新入生59人を新たな仲間として迎えて、教育活動をスタートすることができました。先月行われた生徒会対面式では生徒会活動や部活動の紹介など2、3年たちが工夫を凝らし楽しそうに行っている姿は立派で微笑ましく感じました。

子どもの笑顔、誠実さやひたむきに努力する姿が人々の心を動かします。ここにいる子どもたちだからこそ創り出せる「学び」、「愉しさ」、「安心」で、自己実現を図る一人一人が主役の学校を地域の皆様とともに創っていきたいと考えています。

一つ目の「自律」とは、自ら考え、判断し、行動することです。

中学校ではその場で皆さんから出された発言に基づき授業が行われます。授業や学校行事などに積極的に参加することで、主体的に考え、自分たちの手で「学び」を創り上げて欲しいと思います。

二つ目の「探求」とは「真理を求めて深く学び続けること」です。

「なぜ、どうして」といった疑問に対する答えは一つとは限りません。むしろ、間違いから学んだ知識や経験から、よりよい考え方や方法に気づくことがほとんどです。そして、「もっと学びたい」と感じるようになります。

失敗や間違いは自分を成長させるチャンスです。成長する自分を感じながら中学校生活を存分に楽しんで欲しいと思います。

三つ目の「協働」とは目的意識を持ち、いろいろな人と協力することです。

人は様々な人とのふれあいの中で憧れや自分なりの目標を抱き、なりたい自分に向かって自ら深く学ぶようになります。また、いろいろな人と協力して学ぶことで自分の考えを伝える力や人間性などを身につけることができます。ここにいる仲間と共に助け合う喜びや相手を思いやることで、自分の成長に気づき、学ぶ「愉しさ」を創りあげて欲しいと思います。

〈 令和5年度入学式 校長式辞より一部抜粋 〉

☆☆教育活動の特色☆☆

1 自律的な学習者を育てる「個別最適な学習」

- 「なぜ?」「おや?」「もっと!」を生み出す導入
- 協働性を生み出す学び合い
- 学びを実感し、次時につなげるまとめ
- 個別化された習熟・活用

2 よりよい生き方を探究する「道徳」

- 対話と議論による多面的・多角的な思考
- 対立・葛藤・板挟みによる価値の深化

3 トライ&エラーで進む「総合学習」

- 学年ごとのテーマで探究学習を進めます
南相馬×もの(1年)、ひと(2年)、暮らし(3年)
- 探究サイクルの質の向上
- 多様な他者との議論と表現方法の工夫



4 主体性と実践力を育む「特別活動」

- 課題→話し合い→合意形成→実践する学級活動
- 学校生活の課題を解決する生徒会活動
- 学びと感動を生む学校行事
- 夢や目標を育てる進路学習

5 心と体をベストに保つ「生活習慣・生活態度」

- 6時半起床、2時間自学、11時就寝の推進
- ㊦かるく、㊧つでも、㊨きに、㊩づける
- 多様な役割、機会、集団を通して人間関係を築く